



あいち分会

建交労 北信越労職合同支部 愛知分会
名古屋市中川区宮脇町2丁目99-2

ニュース NO.201

2023年4月1日

☎ 052-353-8433 rousyokuuichi@sage.ocn.ne.jp

今、国会で何としても基金創設の実現を法律案実現に向けた院内集会

全国7地裁へ提訴したトンネルじん肺根絶第7陣訴訟は、東京地裁において3月29日和解する予定でした。そこで前日の28日には、今、通常国会で何としても基金創設を実現するための『特定じん肺労働者に対する給付金の支給等に関する法律案上程をめざす院内集会』を、衆議院第1議員会館1階「多目的ホール」において開催しました。

挨拶する小野寺利孝全国トンネルじん肺弁護団長



12時を過ぎる頃、国會議員や秘書の方たちが次々と駆けつけていただき、原告団や弁護団、関係者一同に激励の言葉をかけられました。

この闘いが始まったのは1997年でもう26年にもなります。その間、国は責任を認め、法律改正なども行ってきました。あとはゼネコンとの問題で、裁判をすれば時間がかかることから裁判による救済方法を法律にしてほしいのです。

そのことについて国會議員のみなさんは、「超党派でしっかりと向き合わないといけない」、「長い年月の闘い。一刻も早く法律を」、中には党首が来られて「うちの党は賛同率が低いのにびっくりした。早く賛同署名を出すよう促したい」、「全力で応援したい」「ゼネコンのわがままを許さない」などと、それぞれ決意を述べられ、自民・公明・立憲・国民・共産・維新の会など18名の出席があり、5名の賛同署名が寄せられました。

翌日の和解予定だった裁判は、裁判所の都合で4月26日に延期となり、29日は同じ会場で、学習会を行い、「人として生きる」が上映され、改めて「早く法律を」との決起の場となりました。

全国から粘り強い闘いや拡大活動が報告 労職部会中間会議会場参加

2月28日から3月1日にかけて、東京都内チサンホテル浜松町において、『全国労災職業病部会中間会議』が開催されました。これまでコロナ禍でZoomが続きましたが今回は3年ぶりの会場参加のみとなりました。

高田副部会長の開会挨拶から始まり、昨年の総会(7月)以降、亡くなった組合員に対して、参加者一同哀悼の意を込めて黙祷を捧げました。

その後、「労災職業病の救済は、全国で情報を共有しながらやっていかないと乗り越えられない。各地からの報告をみんなで共有し今後に活かしていただきたい」と挨拶しました。

続いて石田部会長から「被災者救済と基金創設について」挨拶があり、角田中央本部執行委員長は、「建交労は世の中で本当に困っている人に手を差し伸べて大きくなってきた。なかなか光の当たらない人に光を当てて来た労働組合がもっと強く大きくならなければならない」と述べ、佐藤闘争本部長も続いて挨拶しました。

その後、『肺の構造とじん肺・アスベスト』講師：北信越労職合同支部の橋本郁夫さんと、『じん肺遺族補償不支給取消訴訟』講師：九州支部の中里研哉さんから報告を聞き学習しました。

2日目は、討論から始まり10名の発言があり、福島原発の現状、紹介活動、建設アスベストなど、各地での粘り強い闘いが報告されました。

福富事務局長より中間報告と後半期に向けた課題の提起



最後に石田部会長の「团结頑張ろう」で終了しました。内容が部会ニュースと重複します。



みんなのひろば



福寿草

赤羽美津子



我が家の福寿草（フクジュソウ）が咲きました。この花は、古くから福を招き、長寿を意味する花として日本人に

親しまれてきたおめでたい花です。今年も咲いてくれて嬉しいです。

枝垂桜満開

松原義弘

自宅近く個人の屋敷にある枝垂桜。早咲きで満開です。市の銘木になっても良いくらいの見事です。



思い出の一枚(2014年浜松で交流会)



2014年4月3日、浜松市内で愛知と静岡のみなさんが交流会を開催しました。

その日は、浜名湖畔で一泊し、翌日は「浜名湖花博2014」に入場し、1300本の満開の桜と50万球のチューリップ畠の中で楽しみました。

思い出の写真・花やペットの写真大募集

4月の予定

- 5~6日 北信越第10回常任執行委員会
- 8日 県本部 第253回執行委員会
- 17日 第2回分会議
- 29日 県本部 平和宣伝

ご案内

※ 分会第2回会議 4月17日(月) 13:00~
瀬戸文化センター 32会議室

支援カンパのお願い

トルコ・シリア大地震緊急支援

2月6日に発生したトルコ・シリア大地震は、5万人の死者を数え、負傷者は12万人にも登っています。また物的被害も世界銀行は、342億ドル（4兆6500億円余り）にものぼるという甚大な被害をもたらしました。



現地では、現在では避難者の日々の生活のも困窮しており、復興に向けての動きも始まったばかりです。全労連では、トルコ現地の友好関係にある労働組合を通じて支援を行うこととしており、シリアについては複雑な政治情勢のため、国連児童基金などを通じて支援を行っていきます。



国連 被災者支援に1900億円必要

各種署名とカンパにご協力ください。

先月送りました封筒にまとめて送って下さい。

